

マスコットキャラクターデザイン決定!!

愛称募集

最優秀賞
3万円
優秀賞
5千円

『福』 岡山『福』 智町の『福』 智山に住み、皆さまに『福』をもたらす神様が、町の公式キャラクターに決定!

出会うだけで運気が上がるとまでいわれるステキな神様ですが、実はまだ名前がありません。

そこで住民の皆さまにお願いします、そんな神様の名付け親にぜひなってください…

皆さまから親しまれ愛される福智の神様にピッタリな名前をお待ちしています。

応募締切 **2015 2月27日 金** (消印有効)

愛称応募に関する詳細は裏面をご覧ください

POST CARD

8 2 2 1 2 9 2

持参・メール
または52円
切手を張って
応募ください

愛称応募専用用紙

福智町金田937番地2

福智町役場まちづくり総合政策課

マスコットキャラクター愛称募集担当 行

マスコットキャラクターデザイン決定!!

愛称募集



特集

「今やらら」ですか?!

全国に約4千〜5千体、毎年約5百体も生まれていると言われる「ご当地キャラ」。そんな中、福智町では満を持してマスコットキャラクター誕生に向けた取り組みを進めています。「今やらら」と思われるでしょうが、「今だからこそ」全国の例を参考にしながら、まちを代表するキャラクターを生み出すことにつながられるのです。

「ご当地キャラクター」とは、自治体や企業、個人などがイベントやキャンペーン、特産品の紹介などのような地域情報のPRに活用するマスコットのこと。みなさんもご存じのとおり、その全国的な人気は根強く、今日の「ご当地ブーム」を生みだし、今後も長く愛され親しまれていくことが予想される、今もっともアツい観光資源の一つです。

「今やらら」に秘められたご当地キャラの可能性

日本リサーチセンターが「全国ゆるキャラ・ご当地キャラ」について行った全国調査(平成26年10月)では、全国で最も知られているのは「くまモン」と「ふなっしー」で、いずれも認知率は9割を超えています。ご当地キャラの認知度が上がれば、それに比例してまち

まちの命運を左右する福智のキャラクター誕生

全国的にブームとなっているご当地キャラですが、その数は年々増え続け、

の知名度は向上し、名産品の売れ行きや観光客の増加が見込め、その経済効果は計り知れません。実際にブームの火付け役と言われる「ひこにゃん」(滋賀県彦根市)がグランプリに輝いた翌年、彦根城を訪れた観光客数は約2倍に増加。また、日本銀行熊本支店によると、「くまモン」が熊本県にもたらした経済波及効果は1千244億円(平成23年11月〜平成25年10月)。テレビや新聞に取り上げられたことによる広告効果は、90億円以上と見積もられていて、比較的少ない費用でまちをPRできるのもご当地キャラの魅力です。

いまや全国で約4千〜5千体にもぼると言われています。まさにご当地キャラの戦国時代ともいえる今、その乱世を勝ち抜いて福智町の名を全国にPRするべく、10月から2か月間、町の公式マスコットキャラクターの募集を行いました。募集期間中は町のHPやクセス数が例年の約2倍になるほど、多くの人が福智町に注目。全国津々浦々からの応募があり、応募者は414人町内84人・町外330人・役場部署10作品で、応募総数552作品の応募をいただきました。選定に関しては公正を期すため、有識者に協力いただき、「マスコットキャラクターデザイン選定委員会」を設置。一次審査で45作品、二次審査で10作品に絞り込み、最終審査で最優秀賞と優秀賞の2作品を選出し、ついに、わたしたちのまちの新たなキャラクターが誕生しました。

Interview



マスコットキャラクターデザイン選定委員会
田中 哲也 委員長

選定委員会は関係団体の代表、町内在住者、芸術家などの9人で構成され、私も福岡県立大学人間社会学部長という立場で参加させていただきました。選定に際し、まず驚いたのは応募作品の多さです。小学生から高齢のかたまで幅広い年代が応募し、また全国規模で作品が集まったことが衝撃的でした。多くの人が福智町を知り、自分なりに深め、悩み抜いたことが容易に想像できる力作たちが前に、選定への意欲が高まったのは間違いありません。「福智町を全国にPRするにふさわしいデザイン」を念頭に置き、さまざまな角度で議論を深めました。福智町のアイデンティティを大切にしつつ、全国で勝負できるデザインはどれか、委員全員が町民のみなさんの代表という意識を持って熟考し、協議を重ねた結果、この作品を最優秀賞に決定しました。今回、惜しくも選ばれなかった551作品の思いも含め、最優秀賞に選ばれたこの作品が町を背負い、住民のみなさんに永く愛され、全国の舞台でも活躍をしてくれることを切に願っています。

